

令和6年度

青少年健全育成に係る支援のお願い

国立妙高青少年自然の家は、これまで多くの皆様より、多様な体験活動を実施することを目的にご利用いただき、令和5年度末現在で延べ利用者数は350万人に達しました。

本年度も職員が一丸となり、青少年の健全な育成のため、地域の中核的な役割を担うことを念頭に、企業やNPO法人、行政、大学等と連携・協働し、豊かな自然を活かした体験活動を提供します。また、利用団体への支援に加え、青少年教育における多様な課題に対応した体験活動のプログラム開発と普及啓発を通じて、関わる団体や地域の教育力の向上に努めます。

コロナ禍を経て、「妙高の大自然の中で、日常では得難い体験を積み重ねる機会」を多くの子供たちへ提供することの重要性が、これまで以上に高まりました。国立青少年教育施設として、将来を担う子供を誰一人取り残すことなく、一人ひとりが幸福を追求できる持続可能な社会の実現を目指し、今まで以上に効果的で効率的な施設運営に努めます。

つきましては、当自然の家の取組にご賛同いただき、青少年の夢や希望を育む活動をご支援いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

令和6年5月

各 位

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立妙高青少年自然の家

所 長 水 澤 哲